

# 社会変化に対応した 消費者教育の課題

鳴門教育大学大学院  
消費者庁新未来創造オフィス客員研究官  
坂本有芳

## 取引のデジタル化への対応

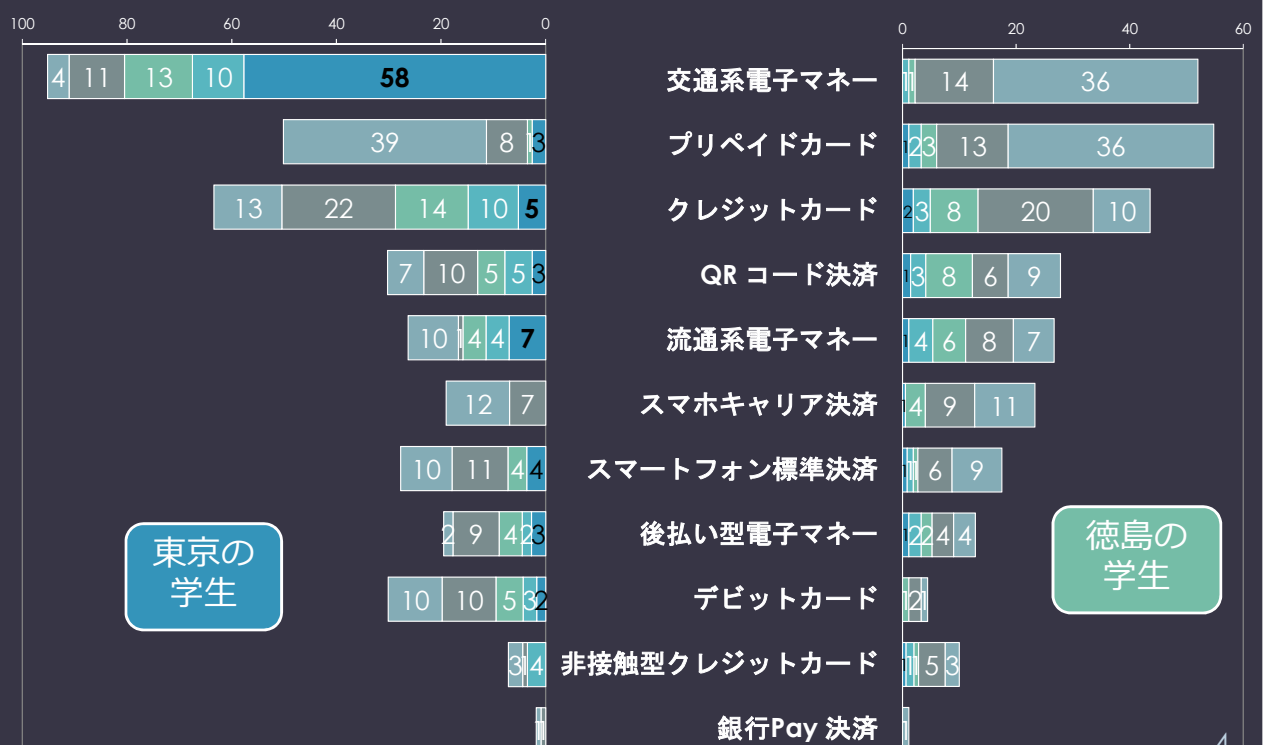
# キャッシュレス決済の状況 —大学生へのアンケート結果から

	徳島県	東京都
対象者	鳴門教育大学, 徳島大学, 徳島文理大学, 四国大学の 学部生・大学院生	東京理科大学, 芝浦工業大 学の学部生・大学院生
標本抽出	知人の大学教員が受け持つ授業を履修する学生	
配布回収 方法	授業開始/終了時を利用した集合法	
調査期間	令和元年11-12月	令和2年1月
有効回答 数(率)	394名 (90.0%)	124名 (98.4%)
	<b>524名 (98.9%)</b>	
配布数	398名	126名

3

## 大学生のキャッシュレス決済利用

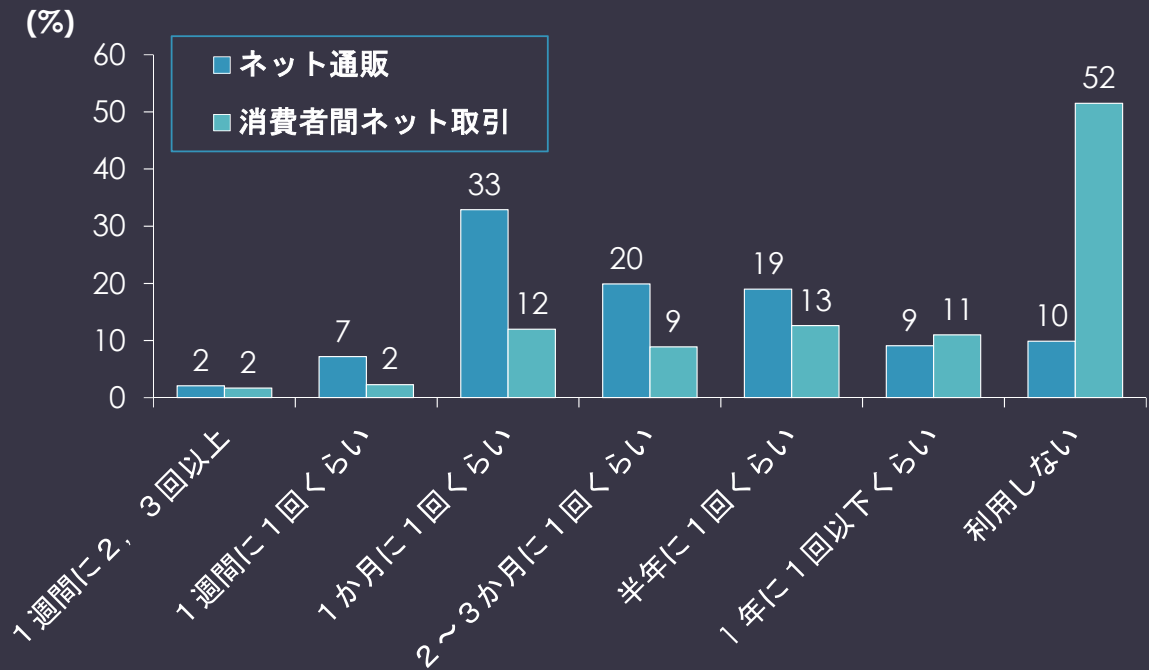
■ ほぼ毎日 ■ 1週間に3~4日 ■ 1週間に1~2日 ■ 1か月に1~2日 ■ 1年間に数日



4

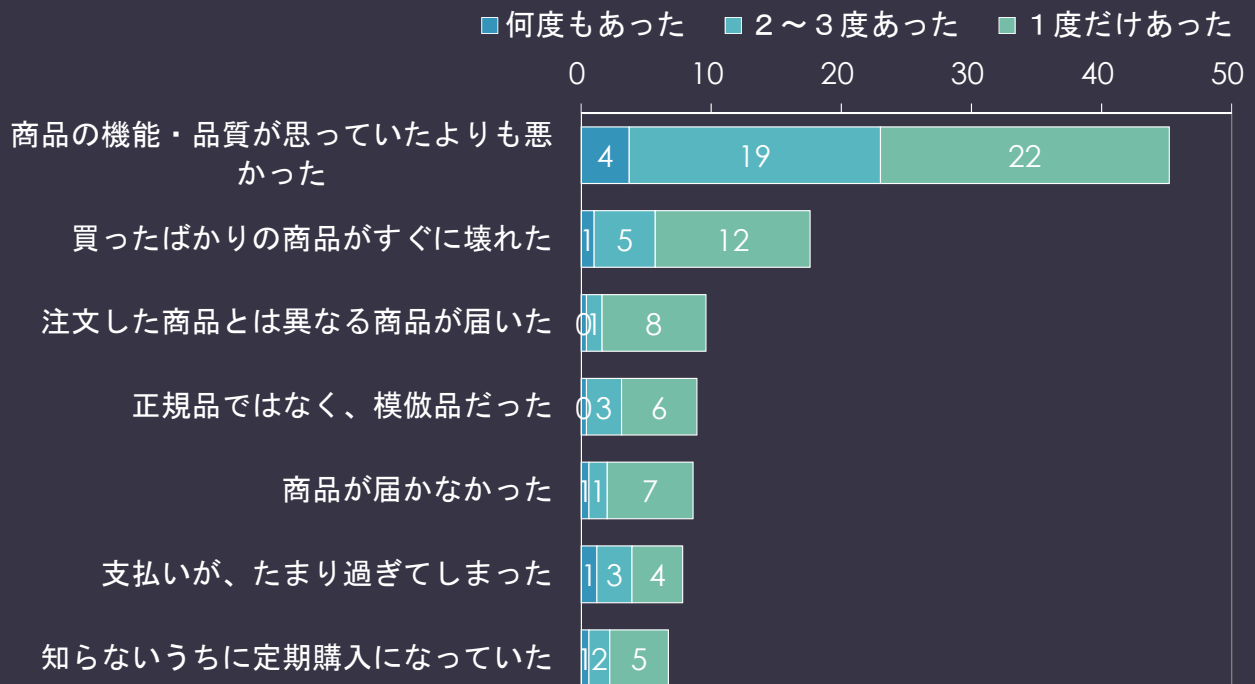
# ネットを利用した取引・買物

通販はほとんどが利用、消費者間取引は約半数



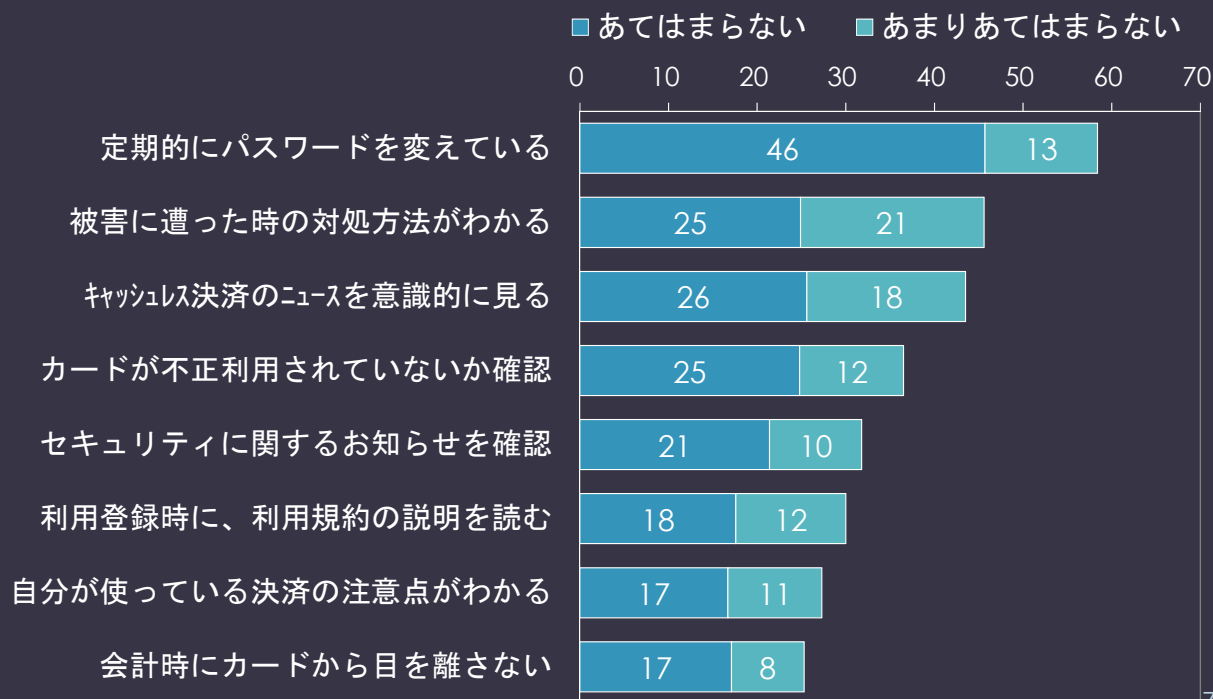
# デジタル取引でのトラブル経験

問題事例も1割弱が経験



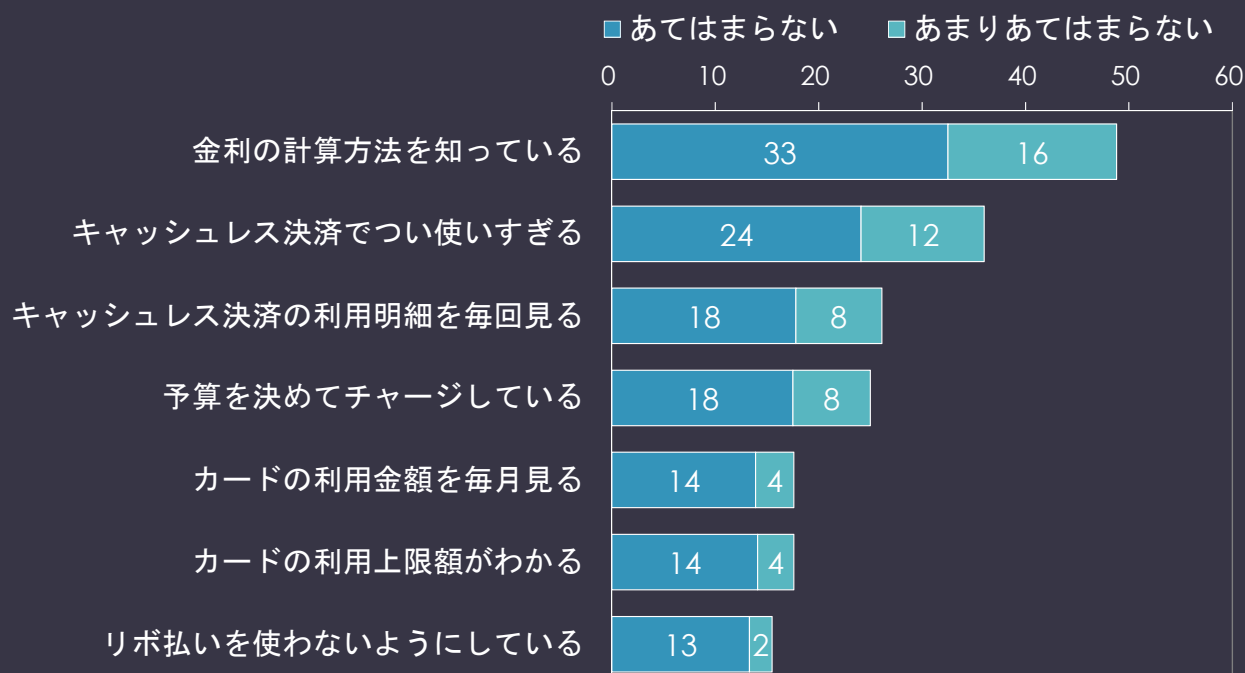
# 不正利用・被害の防止

リスク管理ができていない学生も少なくない



# キャッシュレス金銭の管理

金銭管理ができていない学生も一定程度いる

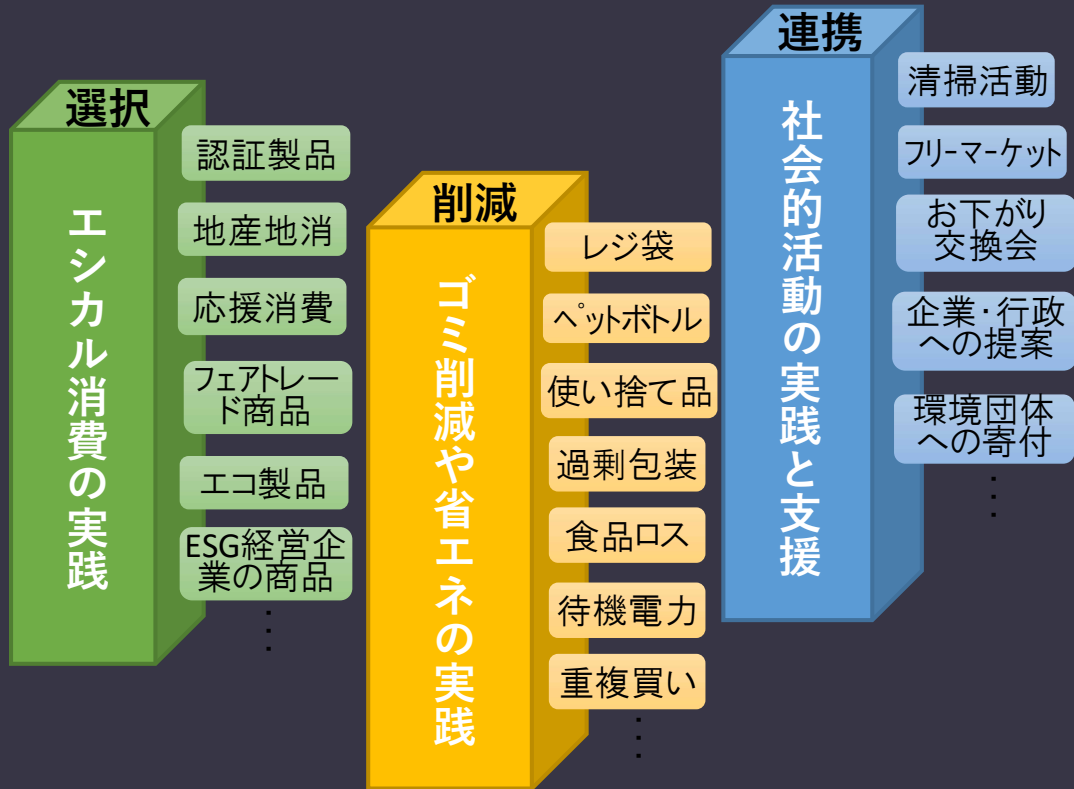


# 答えが1つでない問いを生徒と一緒に考える

- なぜ、消費者被害に遭ってしまう人が減らないのだろうか？
- デジタル化が進む中、安全・安心な取引のために私たちが考えなければならないことは何だろうか？ 消費者、事業者、政府の役割は何だろうか。
- キャッシュレス決済は、無駄なお金の使いすぎにつながらないだろうか。
- ネット通販でのリスク管理とは？
- 消費者保護の仕組みを有効に使うためには？
- 日本で買える製品は全て安全なのだろうか。安全性を確認するために、自分ができるようなことは何か？
- ゴミ分別するのに、何が障害となっているだろうか？

## 持続可能な消費の実践

# 持続可能な消費を支える3本の柱と実践例



# 実践の知を集約する

・例) マイボトルを持参し、ペットボトルの利用を減らす

毎日、お茶を用意するのは大変

夏に麦茶を沸かすのは暑いし・・・

麦茶の水出しは、美味しくない

水道水ってそのまま大丈夫？



少量の熱湯で濃く抽出したお茶を水道水で薄めれば、時短で省エネ！

水道水の安全基準はミネラルウォーターより厳しい！

実践を阻害する要因を洗い出し、対処法を考えてゆくことで行動・継続につなげる